



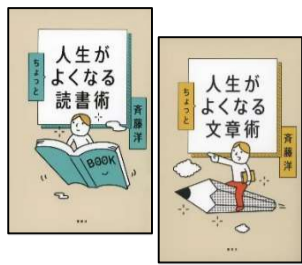
4月

『人生がちょっとよくなる読書術』 齊藤洋/講談社/019 ㍲
 『人生がちょっとよくなる文章術』 齊藤洋/講談社/816 ㍲

本には「出会うべきタイミング」がある。読みはじめた本を最後まで読む必要はない。／「うまく書く」より「楽しく書く」ほうが大事。「書くことがない」は簡単に解決できる。レジェンド童話作家が、“読むこと・書くことがおもしろくなる”思考法を2冊で語る。

「最後まで読まなくても良い」と書かれていても、つつい読み進めてしまいます。

Pick Up!



『AIの倫理』

栗原聡[編著]/KADOKAWA/007.1㍲

自動運転車の事故の責任は誰が取るのか。人間は、AIと共生する社会に適応できるのか。データ資源、偽情報、法的人格、人間にとってのリスクなど、AIと共に生きるために考察すべき課題を、各分野の専門家が検討する。

『場としての図書館』

河本穂馨/ミネルヴァ書房/016.2㍲

図書館の物理的な存在意義を説明するための鍵となる概念である「場としての図書館」。公共図書館における「場としての図書館」が示す機能と役割の全体像を解明し、体系的に提示する。

『中高生のための著作権入門』

関口慶太[編著]/ミッドガル書房/021.2㍲ 青少年

「フリー素材」で検索した画像を授業の発表資料に使っても問題ない？ 中高生や学校関係者に向けた、学校・日常生活・SNSの利用といった場面で生じる著作権についての疑問に答える問答集。

『返さない借りつながる贈与』

岩野卓司/朝日新聞出版/104㍲

資本主義を支える「借りを返す」原理を問い直し、返礼に回収されない「贈与の連鎖」の可能性を探る。災害時の相互扶助や「恩送り」的なコミュニティの実践などを手がかりに、共同性の新しいかたちを描き出す。

『神さまたちの由来』

木村紀子/集英社/162.1㍲

日本人の神意識のみなもとは、どこから発し、人々のどんな思いや願いに根ざしているのか。記紀・風土記から、王朝の日記、漢文資料まで、神々をめぐる多様な言葉の世界に分け入り、この国の「神と人の関係」の原景をさぐる。

『父が子に語る日本史』

伊藤賀一/総合法令出版/210.1㍲

縄文時代は今より幸せだったの？ 昔の人の名前ってどうして何個もあるの？ なんて戦争を止められなかったの？ 日本一生徒数の多い社会科講師が、子どもたちから聞かれた質問をもとに、日本史をさまざまな視点から解説する。

『古代ローマの教科書』

田中創[監修]/ナツメ社/232㍲ 青少年

約1000年にわたる歴史、三大陸に及んだ広大な版図など驚異的なスケールで地中海世界に君臨した古代国家ローマ。建国からローマ帝政後期までの歴史をイラスト・写真を交えてたどる。生活文化も紹介する。

『家柄の誕生』

佐伯智広/吉川弘文館/288.3㍲

公家がどの地位まで昇進できるかを、家ごとに規定した「家格」はいかに生まれたのか。撰家・清華家・羽林家・名家、それぞれの家格の成立と家の存続を懇切に解説。朝廷内での権力闘争を血統と地位の観点から読み解く。

『失敗マップのすすめ』

飯野謙次/日経BP/336㍲

送信ミス、名前間違い、すっぽかし、忘れ物…。失敗を4つのエリアに分類し、効果的なりカバー方法&再発防止策を考えるための思考の地図「失敗マップ」の作り方、使い方を、事例を交え解説する。

『組織の違和感』

勅使川原真衣/ダイヤモンド社/336.3㍲

優秀な人なのに最近元気がない、伝えたいつもりが伝わらない、部下の本音がわからない…。「あれ、今なんか変だったな」という違和感を役立てて最高の組織をつくるためのノウハウと思考法を伝授する。

『ルポあなたの知らない民生委員』

武井優/かもがわ出版/369.1㍲

小学校区に平均10人以上いる、いちばん身近な福祉の担い手、民生委員。生身の民生委員たちの仕事ぶり、生いたち、引き受けるきっかけ、悩みなどをベテラン女性ルポライターが縦横に描く。

『読むだけでわかる「積分」』

永野裕之/講談社/413.4㍲

「積分」は難しい？ じつは、こんなにシンプルだった！ 入門編・中級編・上級編の3段階で、積分の考え方を徹底的にかみ砕いて解説。読み終わったときには積分ができるだけでなく、わかるようになる一冊。

『脳がないのにクラゲも眠る』

糸和彦/朝日新聞出版/481.3㍲

なぜ生物は眠るのか。睡眠はこれまで脳の休息と考えられてきたが、脳がないクラゲも眠ることが発見され、睡眠は脳より先に進化したと考えられるようになってきた。分子生物学者が最新研究を紐解きながら、睡眠の謎に迫る。

『耳・鼻・のどの病気百科事典』

白幡雄一/アスコム/496.5㍲

耳・鼻・のどに特化した病気事典。難聴、めまい、鼻血、アレルギー、口内炎、誤嚥性肺炎など、耳鼻咽喉科の外来診療でよく遭遇する150以上の病気・症状・悩みを網羅。主要疾患の具体的な症例をわかりやすく解説する。

『トコトンやさしい都市計画の本』

宮本万理子/日刊工業新聞社/518.8㍲

人口の過密化を防ぎ、用途に応じて国土を適正に整備する「都市計画」。国内外の都市計画史、人口減少・高齢化時代の都市のあり方、まちづくりに必要なルール、インフラまちづくりの事例などを図表とともに紹介する。

『食べきり煮もの』

重信初江/朝日新聞出版/596㍲

豚バラ肉の角煮風、簡単ビーフストロガノフ、さばと大根のキムチ煮、菜の花とわかめのさっと煮…。「食べきる」ことをテーマに、毎日の生活に寄り添う、最小限の具材で作る普段使いにうれしい煮もののレシピを紹介する。

『水耕栽培まどべじ!』

利倉夏実/主婦と生活社/626.9㍲

室内の窓辺で野菜が育つ？ 超初心者から中・上級者向きまで、必要なものはたいして100均でそろってしまうリーズナブルな野菜の育て方を紹介。1株あたりにかかった金額がわかるレシートも掲載。

『にっぽんの里山を旅する』

今森光彦/クレヴィス/653.1㍲

四季折々に異なる表情を見せる田んぼの風景や人々の暮らし、そこに息づく輝く生命たち…。半世紀以上里山を見つめつづける今森光彦が、日本全国で出会った200か所以上の里山の中から作品を厳選した写真集。エッセイも収録。

『絵巻の楽しみ』

山本陽子/KADOKAWA/721.2㍲

美女や武者や妖怪、綺麗なものから奇妙なものまで、あらゆる題材が扱われた絵巻。細部に迫れば、生き生きした表情が描かれ…。平安から江戸まで、代表的な絵巻18点を例にとり、豊富な図版とともに魅力と見どころを解説。

『絵本と子どもと歩いた日々』

山脇百合子/のら書店/726.6㍲

幼いころのこと、絵を描きはじめてころのこと、そして子育てと絵本作りに励んだころのこと…。子どもの本の画家・山脇百合子が、絵が生まれる背景にあった暮らしや思いを自身の言葉で丁寧につづる。

『武器としての日本語思考』

松元崇/新潮社/810.4㍲

主語がない、すぐに結論を出さない、空気を読む。日本語の特徴は、世界のリーダーたちが剥きだしの自己利益を主張する現代にこそ強みになる。霞が関の元幹部が、経験の中で磨いた日本語を武器にするための思考術を紹介する。

『「手に負えない」を編みなおす』

友田とん/柏書房/914.6㍲

「手に負えない」をキーワードに、鉄道や道路、公園、記憶、言葉など様々なものごとが、人々が手当てすることで維持されているインフラであることを見出す一冊。地下鉄の漏水対策の観察から始まる、暮らしと探究のクロニクル。

『「クマのプーさん」誕生物語』

ジェームズ・キャンベル/原書房/930.2㍲

世界中で愛される「クマのプーさん」は、作家のミルトンと画家のシェパードの奇跡的な出会いから始まった。育った環境や人生経験の異なる二人が、作品を共に生み出し、高め合い、補い合いながら仕事を進めた過程を紐解く。

『高校受験』

高原史朗/岩波書店/F㍲ 青少年

重苦しい空気の中3年生の教室。「合格できるか心配」「不安だらけ」「進路が決まらない」…。学級新聞で吐露される級友たちの本音は、やがて一人ひとりの心を揺り動かし…。生徒たちは、高校受験をどう乗り越えていくのか？

『咲良は上手に説明したい!』

滝沢志郎/PHP研究所/F㍲

混乱する横浜駅で、乗客対応に追われるアルバイト駅員の石川咲良の前に一人の女性、浅倉響が現れる。浅倉のわかりやすい説明で乗客が納得する姿に衝撃を受けた咲良は、浅倉と同じテクニカルライターを目指し…。お仕事小説。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。

また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

※メールアドレスを変更された場合はご自身でホームページより変更手続きをお願いします。



スマホ用ホームページ